



# 営農ウィークリーNEWS

## 伏見稲荷大社 初午大祭に「京はたけ菜」を奉納



羽束師支店管内の南部みず菜部会では、2月7日の伏見稲荷大社初午大祭に合わせて「京はたけ菜」を伏見稲荷大社に奉納されました。

初午大祭は、和銅4年（711年）に稲荷大神が稲荷山に鎮座された日に催される祭礼で、京都では古くから2月の初午の日に、油揚げと「畑菜」の辛子和えを食べる風習が残っています。

羽束師地域は、京みず菜と京壬生菜の府内でも有数のブランド認証産地として知られ、

古くから京みず菜と京壬生菜とともに「畑菜」を栽培されていました。

2016年から、全農京都府本部の提案により「畑菜」の生産復興と農家所得増大を目指し、「京はたけ菜」として栽培を始められました。



当日は、新たに「京はたけ菜」を栽培しているJA京都やましろ久御山町支店管内の久御山野菜出荷組合と全農京都府本部と2産地のJAが協力し、「京はたけ菜」を奉納しました。

### TAC information

京都府花き生産組合連合会



### 視察研修in熊本県



京都府花き生産組合連合会の視察研修会で熊本県に行ってきました。

さすが熊本。何もかもがビッグスケールでした。

終始、圧倒されっぱなしでしたが、今回学んだことを今後の活動に役立てます。

視察の様子(カスミノウ)

